第３回東京ミドルシアター・フェスティバル

国際演劇祭
イプセンの現在

企画委員長：大笹吉雄
企画委員：秋葉裕一　飯塚 容　伊藤 洋　斎藤偕子　七字英輔
瀬戸 宏　田之倉 稔　新野守広　藤井慎太郎　みなもとごろう（五十音順）

主催：特定非営利活動法人 舞台21　プロデューサー：名取敏行　芸術監督：毛利三彌
アドバイザー：バー・クレメッツェン（Ba Clemetsen）ノルウェー国立劇場　コーディネーター：嶋野冷子

前売発売 2016.9.1（木）

チケット取扱い

◎特定非営利活動法人 舞台21 オンラインチケットサービス http://www.nato.jp/

◎Confetti（カンフェティ）・・お得な公演チケットサイト
ご予約後、予約有効期間内にセブン-イレブン店頭レジにてチケットをお受け取りください。
※クレジットカード決済を選択された場合、お申込み4日後より発券可能となります。
［ＷＥＢ予約］http://confetti-web.com/
ご予約前に、お得な公演チケットサイト「カンフェティ」への会員登録（無料）が必要となります。
［電話予約］カンフェティチケットセンター 0120-240-540（受付時間 平日10：00〜18：00）
お電話でのご予約の場合、会員登録は不要です。※カンフェティポイントは付きません。

◎としまチケットセンター（10:00-19:00）03-5391-0516
オンラインチケット http://owlspot.jp/

◎世田谷パブリックシアターチケットセンター（10:00~19:00）03-5432-1515
世田谷パブリックシアターオンラインチケット（24時間受付・要事前登録）
PC http://setagaya-pt.jp/　携帯 http://setagaya-pt.jp/m/

◎特定非営利活動法人 舞台21　Tel&Fax 03-5450-5563　butai_21@ybb.ne.jp
〒154-0015世田谷区桜新町2−21−7 臼井ビル301
銀行振込口座：三菱東京ＵＦＪ銀行 宮崎台支店 普0068573

お問合せ 特定非営利活動法人 舞台21 Tel&Fax 03-5450-5563 butai_21@ybb.ne.jp ／ 名取事務所 www.nato.jp
※受付は開演の45分前、客席開場は各カンパニーによる。 ※未就学児童の入場はお断りしております。

「国際演劇祭 イプセンの現在」 シンポジウム開催

12.9（金）14:00〜17:30　入場無料
於：日本女子大学内 桜楓2号館・3階会議室

「科学・情報・経済・ジェンダー
―世紀を経て『人民の敵』を読む」

司会：みなもとごろう 演劇評論家・日本女子大学名誉教授
出席（予定）
毛利三彌 フェスティバル芸術監督・成城大学名誉教授
ヨレンテ・ドゥ・ケースマイケル
森 新太郎 演出家
小山ゆうな 演出家

共催：日本女子大学文学部日本文学科
協賛：スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団
協力：ノルウェー王国大使館、（有）名取事務所

「国際演劇祭 イプセンの現在」 レクチャー開催

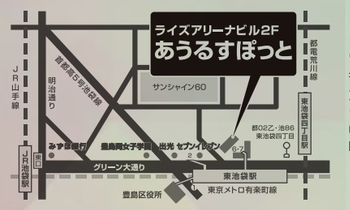
12.9（金）18:30〜21:00　入場無料
於：早稲田大学文学部（戸山キャンパス）33号館15階 第10会議室

「ｔｇ STAN 演出家なき俳優集団、
その創造の方法」

資料：イプセンフェスティバル参加作品「人民の敵」上演映像

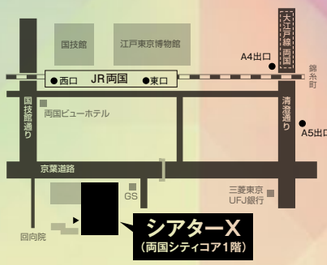
司会：藤井慎太郎 早稲田大学文学学術院教授
出席（予定）
ヨレンテ・ドゥ・ケースマイケル ｔｇ STAN 女優
フランク・ヴェルクルイセン ｔｇ STAN 男優

主催：早稲田大学文学部演劇映像コース　共催：NPO舞台21
協賛：スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団
協力：ノルウェー王国大使館、（有）名取事務所



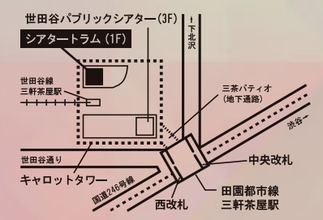
あうるすぽっと
（豊島区立舞台芸術交流センター）
〒170-0013
東京都豊島区東池袋4-5-2
ライズアリーナビル2F
03-5391-0751
http://www.owlspot.jp

●東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
●ＪＲ他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進 徒歩10分
●都電荒川線「東池袋四丁目駅」より徒歩２分



シアターＸ
〒130-0026
東京都墨田区両国2-10-14
03-5624-1181
http://www.theaterx.jp/

●JR総武線「両国駅」西口より徒歩３分
●大江戸線「両国駅」A5出口より徒歩８分

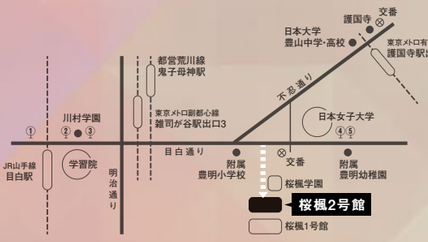


シアタートラム
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1　Tel.03-5432-1526
三軒茶屋駅［東急田園都市線（渋谷より2駅・5分）、世田谷線］より直結

［車いすスペースのご案内］（定員有・要予約）
料金：一般前売料金より10%割引（付添者は1名まで無料）
申込：ご希望日の前日19:00までに劇場チケットセンター03-5432-1515へ

［託児サービスのご案内］（定員有・要予約）
料金：2,000円
対象：生後6ヶ月以上9歳未満（障害のあるお子様についてはご相談ください）
申込：ご希望日の3日前正午までに劇場受付03-5432-1526へ

早稲田大学 戸山キャンパス
〒162-8644 新宿区戸山1-24-1
●電車　JR山手線 高田馬場駅から徒歩20分
西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分
地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩3分
副都心線 西早稲田駅から徒歩12分
●バス　学バス高田馬場駅 − 早大正門、馬場下町バス停



日本女子大学内 桜楓2号館
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 03-3942-6091（代表）
●JR山手線「目白駅」より　徒歩約15分
・バス約5分　バス停②〈学05〉日本女子大学行（直行）… バス停④「日本女子大前」下車
バス停①③〈白61〉新宿西口行/椿山荘行 … バス停⑤「日本女子大前」下車
●東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」3番出口 徒歩約8分
●東京メトロ有楽町線「護国寺駅」4番出口 徒歩約15分

design: GOAT

第３回東京ミドルシアター・フェスティバル

国際演劇祭
イプセンの現在

2016. 11.22tue >>> 12.11sun

「人民の敵」３舞台 ×「ヘッダ・ガブラー」３舞台 競演
"An Enemy of the People" 3 productions × *"Hedda Gabler"* 3 productions

2016年
11月22日（火）〜11月27日（日）
劇場：あうるすぽっと
2016／2017 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
共催：あうるすぽっと（公益財団法人としま未来文化財団）

11月30（水）〜12月4日（日）
劇場：東京・両国 シアターＸ（カイ）
シアターＸ 提携公演

12月6日（火）〜12月11日（日）
劇場：シアタートラム
提携：公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター　後援：世田谷区

特別協力：ノルウェー王国大使館
協力：名取事務所、（有）東京舞台企画、（株）オフィスK2、ウチヤマ工房、（株）東京舞台照明、タケスタジオ、
NPOグローバルプランナーズ、ワールド・プロジェクト（株）、（社）名取事務所、井出舞台音響

文化庁
平成28年度文化庁国際芸術交流支援事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2016

第３回東京ミドルシアター・フェスティバル

国際演劇祭 イプセンの現在

世界が混沌と激動のさなかにあるとき、日本だけが安泰であることはできない。世界の古典演劇が現代化の波にさらされているときに、イプセンだけが安穏としていることはできない。古典と現代の接点であったイプセン劇の現代的上演は、われわれの社会的立場と演劇的思考を如実に示すものとなる。

三回目となる今回のイプセン演劇祭は、現代の社会問題を直視する『人民の敵』と近代人の不安を抉り出す『ヘッダ・ガブラー』に焦点を合わせたヨーロッパと日本の最新鋭のイプセン舞台の組み合わせとなった。これは、世界の「イプセンの現在」を見せると同時に、日本の演劇界に大いなる示唆を与えるものとなるに違いない。

「国際演劇祭 イプセンの現在」芸術監督
毛利三彌

The Third International Ibsen Festival Tokyo
Ibsen now

When the world is in chaos, Japan cannot be the only country to remain calm. Likewise, while most classic dramas are washed by high tides of innovative ***mise en scène***, Ibsen's drama cannot remain the exception in enjoying old performance styles. Thus, a new staging of Ibsen's plays will inevitably reveal a novel perspective on today's global society.
The Third International Ibsen Festival Tokyo, ***Ibsen now***, is composed of three productions of ***An Enemy of the People*** and three productions of ***Hedda Gabler***, which are at the leading edge of today's world theatre. They will clearly show us the state of ***Ibsen now*** in the world and provide suggestions on the future direction of Japanese theatre.

INTERNATIONAL THEATRE FESTIVAL IBSEN NOW
Artistic Director **Mitsuya Mori**

近代社会の問題を直視する『人民の敵』
近代人の不安を抉り出す『ヘッダ・ガブラー』
世界の「イプセンの現在」を照らし出すそれぞれの三舞台

11月22日(火)19:00開演 23日(水・祝)17:00開演
劇場：あうるすぽっと

地点(CHITEN) ── 日本
ヘッダ・ガブラー(HEDDA GABLER)

演出・構成：三浦 基　翻訳：毛利三彌
出演：安部聡子、石田 大、小河原康二、窪田史恵、河野早紀、小林洋平

全席指定　前売4,500円　当日5,500円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)
豊島区民割引4,000円（在住・在勤・在学／要証明書提示）
※豊島区民割引は、としまチケットセンターのみ前売取扱

京都に拠点をおく劇団「地点」は、翻訳劇の再構成やコラージュによる作劇を得意とし、その独自性は国内外で高く評価される。
三浦基による演出・構成により、ディオニュソス的悲劇としての『ヘッダ・ガブラー』を制作。長年培ったアンサンブルで台詞を異化し、〈幸福〉を投げ出すことによってしか自らの人生に勝利できないと信じるヘッダ・ガブラーの激しさと滑稽を描く。舞台美術に杉山至、衣裳にコレット・ウシャールと、三浦基とチェーホフ作品を共に制作してきたスタッフ陣を迎え、地点初のイプセンに挑む。

Chiten, meaning "locus" or "point", is a theatre company led by director Motoi Miura. It employs an original linguistic style, deliberately delaying the cadence and rhythm of language to expose the raw sound of the words liberated from their meanings. This technique has frequently been recognized for its musical qualities. Rather than maintaining a single systematic methodology, Chiten explores a wide variety of approaches for the texts it adapts. Its major work includes a series of stagings of Chekhov plays, Brecht's "Fatzer", Jelinek's "Kein Licht" and "Sports Play". This will be the first time for Chiten to stage Ibsen's play.

三浦 基　photo: Hisaki Matsumoto

11月30日(水)19:00開演 12月1日(木)14:00開演
劇場：シアターX

Visjoner Teater(ヴィジョンズシアター) ── ノルウェー
Hedda Gabler(ヘッダ・ガブラー)

上演時間約1時間35分予定　ノルウェー語上演・日本語字幕付
アイデア パフォーマンスコンセプト：ユーニ・ダール
演出：ユーニ・ダール、トニエ・ゴツカルクセン、俳優たちのコラボレーションによる
出演：ユーニ・ダール、ラース・オイノー、ハウク・ハイエルダール　他

全席自由　前売5,000円　当日6,000円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)

ヴィジョンズシアターは1988年に女優ユーニ・ダールにより創立され、これまでに約30作プロデュースする。創立以来さまざまな海外公演を行う。
ヴィジョンズシアターのヘッダ・ガブラーはユーニ・ダールによるコンセプトで、オリジナルのアイディアはオスロ近郊の森の中の小さな屋敷をステージに上演するものである。
ダールはこのリアリスティックな設定の中で俳優達が台詞、登場人物を探索、演じるよう招いた。この物語は観客と俳優の密接した空間のなかで進んでいく。そのアイディアを元に今回は劇場空間で上演する。

Visjoner Teater / Visions Theatre was founded in 1988 by actress Juni Dahr, and has in the years 1988 – 2016 produced around 30 performances touring internationally for nearly 30 years.
Hedda Gabler is an intimate study where Juni Dahr's artistic concept and original idea was to stage the performance in a small house in the forest near Oslo. She invited actors to explore text, characters and situations in a realistic setting. The performance has a close transparency where the relations and conflicts are exposed to a small audience in an intimate setting.
Based on this idea, Visions Theatre now presents ***Hedda Gabler*** in a theatre space to the Japanese audience.

photo: Anders Lien

12月6日(火)19:00開演 7日(水)14:00
劇場：シアタートラム

tg STAN(ティージー スタン) ── ベルギー
JDX – a public enemy
(パブリック・エネミイ –人民の敵ー)

上演時間約1時間40分予定　オランダ語上演・日本語字幕付
出演：ヨレンテ・ドゥ・ケースマイケル、サラ・ドゥ・ロー、
ダミアン・ドゥ・シュリバー、フランク・ヴェルクルイセン　他

全席指定　前売5,000円　当日6,000円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)

ティージースタンはアントワープコンセルヴァトワールの演劇学校生であったフランク、サラ、ヨレンテ、ダミアンの四人が既存の劇団組織制度に属するのを望まなかったゆえ1989年に設立。カンパニー名のスタン(STAN)は〈名前を考えるのは止めよ〉(StopThinkingAboutName)の頭字語であり、階級組織の中で特定の役割があるのではなく、個々が役者であり、芸術監督、同時に演出家であるという民主的な考えで活動している。
この作品は、アジプロのスタイルで民主主義の誠実さの欠落や民衆の策略、虚偽、脅迫、そして彼らの不寛容さを我々に示している。

tg STAN was founded in 1989 by Frank Vercruyssen, Sara De Roo, Jolente De Keersmaeker and De Damiaan Schrijver, four students from Antwerp Conservatory not wanting to join any existing theater companies. The name of the group is an acronym for "Stop Thinking About Names", to mark their democratic principles: No hierarchy, everyone participates in decisions on everything.
In true agitprop style the play points the finger at the total lack of sincerity in a democracy, the trickery, lies and intimidation, the deception of the people and their intolerance.

© Tim Wouters

11月26日(土)19：00開演　27日(日)14：00開演
劇場：あうるすぽっと

名取事務所(THEATRE OFFICE NATORI) ── 日本
イプセン作『人民の敵』変奏曲 社会の敵はだれだ
(A Variation of Ibsen's *An Enemy of the People. Who is An Enemy of Society?*)

台本・演出：毛利三彌
出演：池田勝、山口眞司、水野ゆふ、森源次郎、小林亜紀子、森岡正次郎　他

全席指定　前売4,500円　当日5,500円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)
豊島区民割引4,000円（在住・在勤・在学／要証明書提示）
※豊島区民割引は、としまチケットセンターのみ前売取扱

名取事務所は1996年設立。代表は名取敏行。演劇、コンテンポラリーダンス、映画などのプロデュースを行っている。
イプセン現代劇の中では比較的評価が低く、上演も少なかった『人民の敵』は、ここ数年、世界の各地で、その地の政治、社会問題に重ねた形で上演され、脚光を浴びている。この流れに棹さして、この問題劇でいまの日本社会を映し出してみると、どうなるか。議論劇として、社会の敵をあぶり出す。

Theatre Office Natori was founded in 1996. It is a production company headed by Toshiyuki Natori. It has been producing theatrical plays, contemporary dance, film and other performances.
An Enemy of the People, which, among Ibsen's mature œuvre, was once little valued and seldom performed, is now his most frequently staged play, reflecting as it does the hottest political and social issues globally. Following this trend, we attempt to illuminate the problems of contemporary Japanese society in the form of a discussion drama and ascertain who is the real enemy of society.

毛利三彌

12月3日(土)19：00開演 4日(日)14：00開演
劇場：シアターX

雷ストレンジャーズ(Kaminari Strangers) ── 日本
フォルケフィエンデ－人民の敵－
(*En Folkefiende - An Enemy of the People* -)

上演時間約1時間50分予定
演出・上演台本：小山ゆうな　翻訳：毛利三彌
出演：寺十吾、廣田高志、辻しのぶ、霜山多加志、中山朋文、
松村良太、山下順子、小野寺ずる、宇井晴雄、内山森彦

全席自由　前売4,500円　当日5,500円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)

雷ストレンジャーズは、2011年につくられた東京に拠点をおくアーティストプロデュース集団。『フォルケフィエンデー人民の敵—』は、2015年初演、『テアトロ』今月のベストスリー選出作。「多数が正しいなんて事は決してない、決して！」—民主主義と正義のあり方についての１３０年前のイプセンの問題提起に今、光をあてる。

Kaminari Strangers is an artistic collective based in Tokyo that was founded in 2011. First staged in 2015, their ***"An Enemy of the People"*** was selected for "Best 3 Plays of the Month" by Teatro magazine. "The majority is never right. Never, I tell you!"— as Henrick Ibsen posed it 130 years ago, the question about the way democracy and justice ought to be is once again highlighted here in this age.

photo: Guillaume Tauveron

12月10日(土)18:00開演 11日(日)14:00開演
劇場：シアタートラム

Teatrul Maghiar de Stat Cluj
(クルージュ・ナポカ マジャール劇場) ── ルーマニア
HEDDA GABLER(ヘッダ・ガブラー)

上演時間約2時間40分予定(途中休憩有り)　ハンガリー語上演・日本語字幕付
演出：アンドレイ・シェルバン
出演：イモラ・ケズデイ、ゾルト・ボグダン、エルヴィン・シューチ　他

全席指定　前売5,000円　当日6,000円　学生3,000円(舞台21のみ取り扱い)

ルーマニアのクルージュ・ナポカ市にマジャール民族の芸術団体が成立したのは1792年である。マジャール劇場は1961年から現在の劇場を拠点にしており、ルーマニアにおいてハンガリー語で上演する特異な劇団である。今回が初来日。
この作品は世界の演劇界を席巻した演出家アンドレイ・シェルバンが、いまだ健在であることを示す舞台であり、その視覚的な斬新さと俳優の演技力の確かさによって、正統性なる近代古典劇上演の範型を提示したい。

The Hungarian State Theatre of Cluj, an art organization of the Magyar nation, is a theatre in Cluj-Napoca, Romania, founded in 1792. The theatre has been based at the current building since 1961. Performances are played in the Hungarian language, which makes their position very unique in Romania. This is their first visit to Japan.
Hedda Gabler, directed by the world acclaimed Andrei Serban, convinces us that Serban is still active and well, and we would like to show an orthodox model of performance of a modern classic drama with a visual originality and excellent acting ability.

© Istvan Biro

Project financed by ROMANIAN CULTURAL INSTITUTE